

# 【蜻蛉池公園】～みどりの大阪推進計画～(H21.12策定)



◇みどりの大阪推進計画での位置づけ

【大規模公園緑地を核とした緑】  
 泉州地域における、「海と山をつなぐみどりの風」の軸の形成にあたっての、骨格となる「大規模公園緑地を核とした緑」として位置づける。

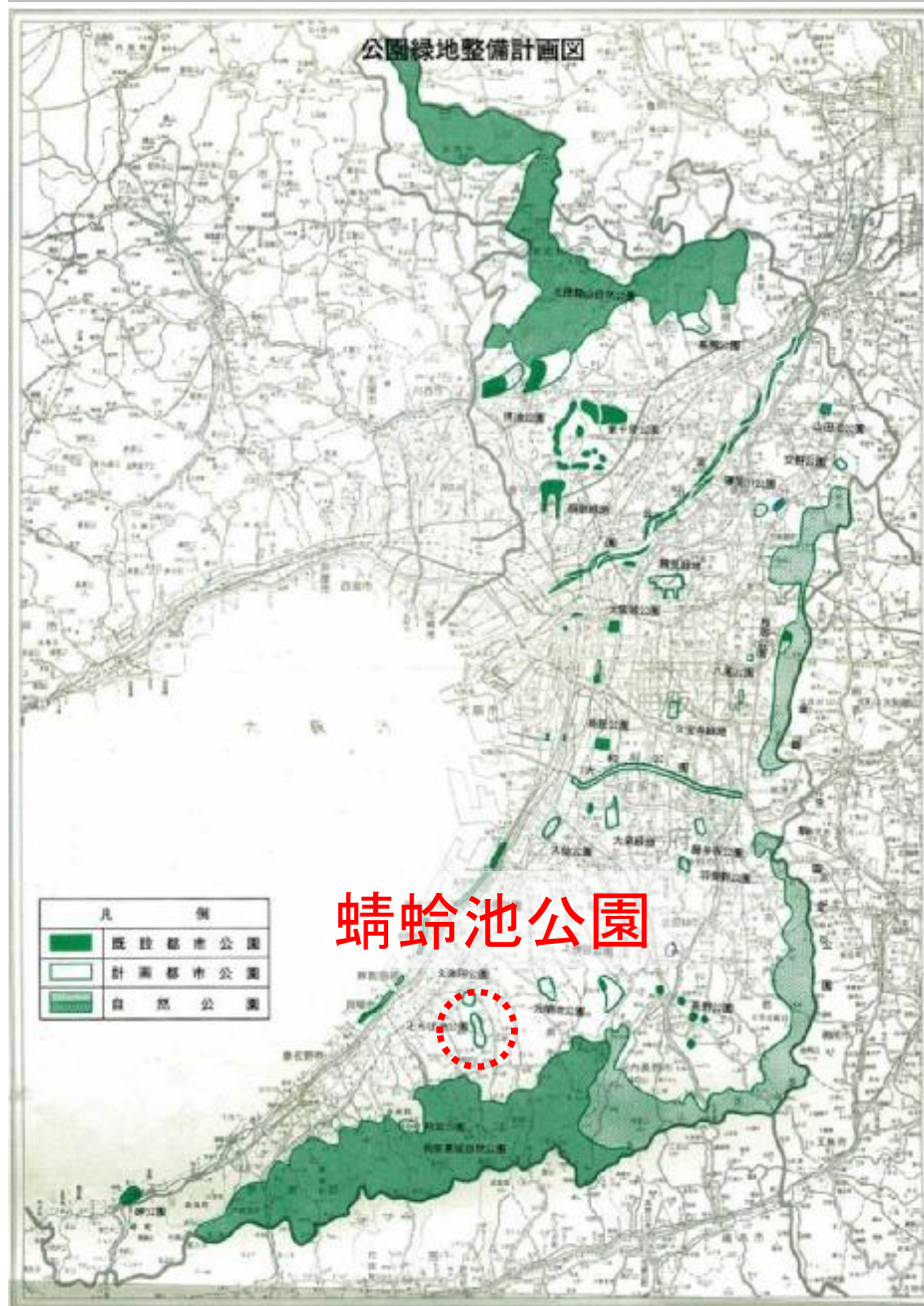


# 【蜻蛉池公園】 ～大阪緑地計画～ (S16策定)

◇大阪緑地計画での位置づけ

位置づけ無し

# 【蜻蛉池公園】 ～大阪地方計画～ (S42.3策定)



## ◇大阪地方計画での位置づけ

### 【大公園】

都心より1時間余りで到達しうる地域内に史跡、自然景観等を生かし広域的な住民の利用を対象として設置し、各公園の立地条件に適した施設を整備する。

#### \* 23号公園(とんぼ池)

施設内用: キャンプ場、休養、散策施設、樹林、運動施設

# 【蜻蛉池公園】 ～南部大阪都市計画区域マスタープラン～ (S22.3策定)

## ◇南部大阪都市計画区域マスタープランでの位置づけ

図表 5-2-3 「みどりの風促進区域」のイメージ



出典：みどりの大規模推進計画（大阪府）

### 【みどりの骨格】

大規模公園緑地をみどりの骨格として保全、整備するとともに、主要道路や主要河川、自然歩道等によりみどりのネットワークづくりを進める必要がある。

### 【みどりの風の軸】

主要道路、主要河川、大規模公園を中心に連続性と厚み、広がりのある「みどりの風の軸」を形成する。

# 【蜻蛉池公園】 ～岸和田市緑の基本計画～ (H12.3策定)



蜻蛉池公園

市街地と緑のパターン・緑の軸線

◇岸和田市緑の基本計画での位置づけ

## 【緑の軸線】

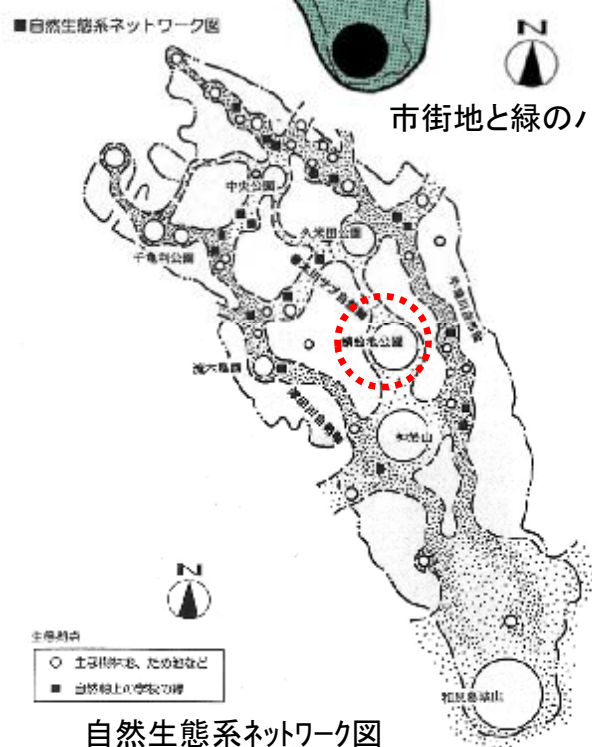
神於山から蜻蛉池公園、久米田公園を経て中央公園に至るルートは、中央部を貫く緑の軸線となっている。

## 【サブ自然軸】

春木川は生態的位置付けのほか、レクリエーションや生活上の位置付けも高いことから、自然軸(津田川・牛滝川)のサブ軸に設定します。

## 【主要なレクリエーションルート】

春木川緑道を軸に、市街地、新興住宅地、レクリエーション施設を徒歩または自転車によって、手軽にまた安全快適に結ぶ、主要なレクリエーションの役割を担わせる。



自然生態系ネットワーク図



レクリエーションネットワーク図

# 【蜻蛉池公園】 ～岸和田市 総合計画～ (H23.3策定)



まちづくりゾーン図

## ◇岸和田市 総合計画での位置づけ

### 【みどりの交流ゾーン】

蜻蛉池公園や泉州山手線沿線をみどりの交流ゾーンと位置付けます。広域的な公園拠点とともに、泉州山手線の延伸に応じて、沿道周辺を広域連携軸が担うべき都市機能や地域資源を活かした都市と農業が合するゾーンとして長期的に整備・形成を図ります。

# 【蜻蛉池公園】 ～岸和田市 都市計画マスタープラン～ (H23.3策定)

◇岸和田市都市計画マスタープランでの位置づけ

## 【水とみどりにふれあう軸(緑地)】

神於山から蜻蛉池公園・久米田池・中央公園を經由し、海までつながる春木川緑道の形成をはじめ、人が水とみどりにふれあう軸として保全活用を図ります。

## 【里の景観区の景観核(景観)】

蜻蛉池公園や神於山を核とし、史跡や集落、地形・植生、また山並みと一体となった農村風景など、生活と自然が織りなす空間の保全を図ります。

## 【みどりの交流ゾーン(土地利用)】

蜻蛉池公園や泉州山手線沿線をみどりの交流ゾーンと位置付けます。広域的な公園拠点とともに、泉州山手線の延伸に応じて、沿道周辺を広域連携軸が担うべき都市機能や地域資源を活かした都市と農業が融合するゾーンとして長期的に整備・形成を図ります。



水とみどりの保全と形成  
(緑地)



景観特性(景観)



まちづくりゾーン(土地利用)